

令和5年 諏訪神社奉納煙火（遠州新居の手筒花火）

一晩で1,000本もの花火が奉納 祭礼神事も江戸時代から形を変えず今に残る

7月29日【土】 前夜祭 煙火会場／新居中学校

時間	行事・番組	内 容	会 場
13時00分	お宮詣り	六町の子どもたちが太鼓台を曳いてお宮詣りに向かう。その太鼓の鳴る様子から“ドンドヤイヲ”とも呼ばれる。	花火六町→ 諏訪神社
16時00分	汐花	花火六町内を赤鬼・青鬼が櫛の小枝で潮水をふって清めて廻る。	高見町公民館→ 花火六町
17時30分	練込み	花火六町がそれぞれの町から激しく練り込み祭典会場へ向かう。	花火六町→ 諏訪神社
18時00分	斎火の儀	奉納煙火“前夜祭”の火をおこす。	諏訪神社
	奉納煙火	花火六町の“取締”という役人の代表者が諏訪神社社前で各々1本ずつ花火を奉納する。	
18時00分	お出張り	神様が降臨され花火見物に出張る。	諏訪神社→新居中
19時15分	大山上	“大山”と呼ばれる高い檜の上から“大山”という役人の挨拶で祭礼が開始される。	新居中学校 【見どころ】 新居の手筒花火の象徴でもある猿田彦煙火が奉納される。
	大筒 (手筒花火)	1. 仲町 2. 源太山町 3. 上田町 4. 高見町 5. 中田町の順で出す。	
	三役 (手筒花火)	源太山町・上西町・仲町の同時点火。	
	仲町大筒 (据付式)	2023年は、従来“前夜祭”の前日に行っていた“試み”が開催されないため、番組の構成が大きく変わり、“試み”で行われていた六本揃い、試み形式乱点けなどが予定されている。次から次へと手筒花火を点火する乱点けでは、一度に数十本の手筒花火が見られる。	
	上西町猿田彦煙火 (手筒花火乱点け)		
	源太山町大筒 (据付式)		
	試み形式乱点け (手筒花火乱点け)		
六本揃い (手筒花火)	花火六町／源太山町・上西町・高見町 ・上田町・中田町・仲町の同時点火。		
21時00分	手打ち式 (前夜祭)	“前夜祭”の締め。	

※この表の時間は目安です。

7月30日【日】 本祭り 諏訪神社・花火六町内

時間	行事・番組	内 容	会 場
10時00分	諏訪神社例大祭	“宮座”で六町内小学生女子による“浦安の舞”が披露される。	諏訪神社
15時00分	御神体遷しの儀	神様の御魂を神輿に遷す。	諏訪神社 →旧新居宿 →諏訪神社
	神輿渡御	神様が神輿に乗り旧新居宿（花火六町と踊り四町）をまわる儀式。神輿の列は、その太鼓の鳴る様子から“デンデンカッカ”とも呼ばれる。	

時間	行事・番組	内 容	会 場
19時00分	ロクチョウマワ 六町廻り	六町それぞれの子ども太鼓台曳き廻しと、 “取締”や“若い衆”による“馬鹿祭り”で 賑やかに六町を廻る。	花火六町内
21時00分	手打ち式 （本祭り） ホンマツ	お祭りの締め。花火六町内、中田町カニヤの 四つ角で行われる最後の手打ち式。六町役人 代表者が集まり丸く輪になり行われる儀式。	中田町 カニヤ前四つ角

ハナビ ロクチョウ キュウアラिशユク カミニシマチ タカミ マチ カミダ マチ ナカマチ ナカダ マチ ゲンダヤママチ
 花火六町／旧新居宿の上西町、高見町、上田町、仲町、中田町、源太山町の六町を言う。
 アライ シュクナイ ミナトシンジャ オド オド ヨン チョウ イズミマチ フナマチ
 新居宿内には湊神社の秋の踊り祭りをを行う“踊り四町”と呼ばれる泉町、船町
 タマチ サカエマチ
 俵町、栄町もある。

ヤクビト
 役人（祭典委員）／花火祭りを仕切る諏訪神社氏子六町の人たちで構成。
 年長者から世話係・取締に分かれる。